

一般社団法人 岐阜県臨床検査技師会
令和7年度 第3回常務理事・部長会 議事録

開催日時：令和7年9月25日（木）18時00分～18時45分

開催場所：久美愛厚生病院検査科 Web 併用（Zoom）

出席者：岡村、酒井、澤野、森本、市川、渡邊、荻谷、菊地、日比

欠席者：山口、乾

議長：岡村（会長）

議事録：日比（庶務部長）

報告事項および議題

1. 関係各所からの報告【日臨技・県・厚労省・その他】〔岡村会長〕：資料配布済み
以下の資料内容について確認をお願いし、一部内容に補足説明を行った。

- ① 中部医学検査学会事務局より、令和7年度中部圏支部医学検査学会 事前参加登録の開始について
- ② 日臨技より、会費の送金等の資料について
- ③ 日臨技より、結核研究奨励賞 候補者の推薦について
- ④ 自民党 若井あつこ事務所より、事務所開設のお知らせについて
- ⑤ 岐阜新聞より、健康づくりフォーラムへの出展について

2. 中部圏支部医学検査学会について〔山口副会長代理；森本部長〕

- ・学会のポスターが完成した。次回理事会にて披露する。
- ・三重学会参加について準備調整中である。

3. 公益事業について〔荻谷渉外部長〕

- ・平成26年に一般社団法人として移行申請した際の公益目的財産を公益目的支出計画に基づき、計画的に公益事業に支出させるもので、毎年 県知事宛に公益目的支出計画実施報告書等を提出している。（渉外部長の業務）
- ・申請時の公益目的財産は13,367,094円であり、毎年1,093,368円ずつの減（公益目的支出）の計画で、年間計画上の完了見込みは令和9年3月となっている。
- ・公益事業には、・学会・研修会事業（県学会、拡大研修会）・健康イベント事業（各種健康まつり）があり、法人全体の会計と公益事業の収入・支出をまとめて、報告している。しかし、近年、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、学会・健康イベント事業を縮小・中止したことで、計画より大幅な経費減となっており、令和6年度末の計画公益目的財産残額1,340,046円に対し実績公益目的財産残額3,134,621円と実績残額が多く、完了見込は延長が予想される。

- ・経費削減目的での拡大研修会廃止を検討している事に関し、公的事業ではあるが会の財政健全化に対しては有効と思われる。
- ・また、現状赤字予算案で行われている公共事業は公益目的支出計画が終了した場合には各事業での収支を考えた予算案が必要となる。

4. 拡大研修会のあり方について〔岡村会長〕

- ・拡大研修会は、これまで開催されてきた個々の部門研修会での参加人数が少なく、集客力を上げる目的で実施することになった経緯がある。
- ・会費を減額したこと、事務所も賃貸となって毎月の支払が出てきていること、各研修会も活発になってきたこと、研修会スタッフの経費を増額したこと、今後、減額した会費を元にもどすことは難しいこと等から支出を下げる方法を考える中で、会場費の削減や研修会の助成金を利用することを行っているが、今後は拡大研修会について廃止を含め検討することにする。
- ・今後の拡大研修会のあり方について学術部で各部門に調査することになった。

5. 健康づくりフォーラムへの出展について（資料⑤）〔岡村会長〕

- ・岐阜県が主催で岐阜新聞社が受託している「清流の国ぎふ健康づくりフォーラム」への参加要請がきた。今年は予算案が無く公益事業としての届け出をしていないためお断りする。健康まつりを廃止してこちらに一本化することも考えられるが、来年以降について検討する。

各事業部

【学術部】〔森本部長〕

1. 研修会終了報告

- ・第9回中部圏認定病理検査技師企画・病理技術研修会：8月30日、現地開催（実技）、定員80名、90名参加
参加費4,000円、（予算）3,420円（岐臨技負担：0円、助成金利用）
- ・第4回輸血細胞治療部門研修会：8月30日、現地開催（実技）、定員12名、12名参加
参加費4,000円、（予算）10,600円（岐臨技負担：10,600円）

2. 行事承認の件について

- ・生理部門研修会：
11月29日（土）、LIVE配信（Zoom ミーティング）にて開催、定員100名
内容は、神経生理分野 脳波に関して
予算15,900円（講師代等）（岐臨技負担：15,900円）
- ・病理細胞部門研修会：

10月13日（火）、株式会社 中部パソロジー WEB（Zoom ウェビナー）にて開催、
定員 200 名、内容は、認定病理検査技師試験と病理細胞部門精度管理報告
予算 50,000 円（会場費、講師代等）（岐臨技負担：0 円、助成金利用）
支出予定 47,800 円

3. 中部圏支部医学検査学会（第 63 回）三重 一般演題座長選定報告について

各部門の座長を以下の方に依頼することになった。

一般：加藤洋平 岐阜大学医学部附属病院検査部

管理・運営：日比敏男 大垣市民病院医療技術部診療検査科

微生物：大澤稜 岐阜県総合医療センター中央検査部

血液：神戸歩 岐阜大学医学部附属病院検査部

免疫血清：武藤延秋 J A岐阜厚生連東濃中部医療センター東濃厚生病院 検査科

生理（管理）：長屋麻紀 岐阜県総合医療センター中央検査部

生理（心エコー）：神谷敏之 松波総合病院中央検査室

* 以上の内容について、全員賛成で承認された。

【広報宣伝部】[市川部長]

- ・ 三重の中部学会及び拡大研修会での会報誌用の写真、報告内容について森本学術部長が対応する。

【組織調査部】[澤野部長]

- ・ 12月7日（日）の「検査と健康展」の準備を進めている。
 生化：貸借する機器をより安価なものへと再調整中である。

【精度管理事業部】[渡邊部長]

- ・ 一次評価の結果（判定 D、C の施設宛での報告書）を郵送予定（38 施設）である。10/4 に二次サーベイ用試料を再配布し、その後第二回会議の開催予定である。

【渉外部】[荻谷部長]

- ・ 特になし（公益事業の説明）

【庶務部】[日比部長]

- ・ 特になし

酒井副会長

- ・ 特になし

菊地先生

- ・特になし（理事会前であり日臨技からの報告事項はなし）

各地区からの報告

- ・特になし

その他

- ・特になし

以上

議 長	岡村 明彦	
議事録署名人	酒井 美穂	
議事録署名人	荻谷 美里	